



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ
WEEKLY REPORT

2009～2010 年度 高山中央 RC 会長テーマ「聞・思・修」

◆会長 橋本 修 ◆幹事 岩垣津 亘 ◆会報委員長 長瀬 栄二郎 ◆会報担当 久々野 国良

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 838 回	49 名	46 名	34 名	—	73.91%
前々回 836 回	49 名	46 名	37 名	6 名	93.48%

<点 鐘> 会長 橋本 修

<会長の時間> 会長 橋本 修

米国がくしゃみをする日本が風邪をひくという構図は、何年経っても変わらない様です。

本日 5 月 24 日は、モスクワオリンピックの不参加を決めた日だそうです。

30 年前のことです。79 年にソビエトが、アフガニスタンに侵攻し、80 年にカーター大統領は「軍事撤退しないとオリンピックには参加しない、同盟国にも不参加を促す」と表明しました。

スポーツに政治が介入した大きな事件ですが、日本は米国に追従しなければならず、役員・選手 225 名は宙に浮いてしまいました。当時の総理、大平さんからは、特別な事は何もしないばかりか、一言のなぐさめの言葉も選手たちになかったとの事です。

側近の大臣からは、ボイコットしてよかったじゃないか、一番安上りの対米協力となったのだから・・・と言われる位でした。



一方カーター大統領は、米国選手をホワイトハウスに招き、全員にユニフォームを渡し、名誉を称えたとの事です。比べる事ではないと思いますが、岡田ジャパンが今大会に

向けて、いよいよ戦うぞと夢一杯の時に、ワールドカップ出場辞退しよう、不参加になりました・・・となったら、マスコミ始め世間は大騒ぎになるのではと思います。

今、トップの言葉の軽さが問われています。廻りの人達は迷惑し、振り廻されています。

指導者に恵まれないと、どこかの国の様に、失われた何年という事の繰り返しでは、気がついたら「何てことだ」となるのでは、心配になりました。

私自身、表明した思いを成しとげる為に、残された期間、精一杯会長として頑張りたいと思います。

<本日のプログラム>
環境保全委員会

高山市資源リサイクルセンター

所長 堀之内 行良 様



高山市資源リサイクルセンターの概要を説明していただきました。

清掃工場

清掃工場の概要

- 名称／高山市資源リサイクルセンター 清掃工場
- 愛称／サンクリーン高山
- 所在地／岐阜県高山市三福寺町 1800 番地
- 炉型式／全連続燃焼式焼却炉
- 焼却能力／100t/24h (50t/24h×2 炉)
- 敷地面積／19000 m²
- 延床面積／工場棟 2,571 m²
管理棟 1,502 m²
車庫棟 532 m²
灰固形化棟 178 m²

(高山市清掃工場)

- 着工 昭和 58 年 10 月
- 竣工 昭和 61 年 3 月

基幹改良・整備

- 着工 平成 12 年 9 月
- 竣工 平成 14 年 3 月

特徴

①公害の防止

- 周辺の地域、自然環境に対し調和を図るため、次のような対策が施されています。
- 排ガス中の塩素水素、ダイオキシン類およびばいじんの除去については、厳しい基準で設計し、高性能な有害ガス除去装置およびバグフィルタを設置しています。
- バグフィルタ等で捕集されたばいじんは、ダイオキシン類等の溶出を防止するため、灰固形化装置により無害化を図っています。
- 工場から排出される排水は、完備された排水処理装置で十分処理してから、公共下水道へ放流しています。
- ごみの臭気は、エアカーテンにより漏洩を防ぐとともに、燃焼用空気として焼却炉へ送り込み、熱分解させ無臭化を図っています。
- 騒音源となる機器は、極力、低騒音型の機器を使用するとともに十分遮音効果のある建屋構造としています。

②管理運営の効率化

コンピュータによるクレーン制御をはじめ、焼却炉の運転、記録および監視を自動的に行える全自動燃焼制御システムを採用しています。また、ごみ搬入データ処理等についても自動化、省力化を図っています。

③余熱の有効利用

廃熱ボイラを設置して、燃焼用空気加温を行う一方、余剰エネルギーについては、場内の冷暖房、給油およびごみ搬入退出路の融雪を行う他、隣接の養護老人ホーム向陽園および特別養護老人ホーム豊楽園へ蒸気を供給して、給油や暖房に余熱の有効利用をしています。

びん+ペットボトル処理施設

施設概要

- 所在地／高山市三福寺町 1800 番地
- 敷地面積／2,939.26 m²
- 延床面積／657.14 m²
- 施設の仕様／受入ストックヤード棟 1 棟
資源化棟 1 棟
貯留保管ヤード棟 1 棟
- 処理能力／10t/5hr
- 着工／平成 9 年 5 月 28 日
- 竣工／平成 9 年 11 月 27 日

機器の仕様

- 破袋機 1 基
- 搬送コンベア 1 基
- 手選別コンベア 1 基
- 袋搬送コンベア 1 基
- ペットボトル搬送コンベア 1 基
- ペットボトル減容機 1 基
- アルミ缶プレス機 1 基
- スチール缶プレス機 1 基

その他の設備

休憩室・静養室・シャワー室・洗濯室
男女トイレ・障害者用トイレ・男女更衣室

施設の特徴

選別ラインは、知的障害者の小規模授産施設とし、日常生活や作業の安全・環境に十分配慮し運営しています。
<高山市第 2 コスモス福祉作業所 定員 10 名>

- 施設全体の状況を常に確認できるよう、ITV 監視モニター設備を導入
- ペットボトル減容機や缶プレス機は、省力化のため、全自動方式を採用
- 手選別作業が快適に行えるよう、冷暖房および、BGM 放送設備の完備

